

1月レポート 「異文化交流」

春学期は、冬休み終了直後の大寒波によって3日遅れのスタートとなりました。寒波で大学が休講になるのは非常に稀なことだそうです。1月レポートでは、今学期私が履修する授業について、また Martin Luther King Day (キング牧師記念日) に行われた地元高校生との交流イベントについて述べたいと思います。

1. 春学期授業

私が春学期に履修する科目は以下のとおりです。

図1：春学期時間割

	月	火	水	木	金
9:00 - 11:00		English for Specific Purposes			
11:00 - 11:50	Writing		Writing		Writing
12:00 - 12:50					Writing Lab
14:00 - 14:50	Entrepreneurship	International Marketing (-15:15)	Entrepreneurship	International Marketing (-15:15)	Entrepreneurship
17:30 - 20:30				Scholarship of Diversity	

特に紹介したい科目は火曜日の English for Specific Purposes と木曜日の Scholarship of Diversity というクラスです。

前者は、日本、サウジアラビア、韓国からの留学生を中心として、デイケア（幼稚園入園以前の2~5歳の子どものための施設）から高校まで幅広く地域の学校、施設に訪問する授業です。毎週異なる学校、施設に訪問し、各国の文化や言語を紹介したり、学生とディスカッションをするという、一般的な授業とは異なる、特別な目的を持ったクラスです。異文化の人々に日本を知ってもらうためには、まず自分たちが日本について深く考え、知る必要があります。留学生活ではあらゆる場面で、異文化に触れ、他国について知るだけでなく、自らの国、文化について考えさせられることが多くあります。まだ始まったばかりではありますが、これからたくさんの学生と交流できるのが楽しみです。

また、後者の授業は教授、アメリカ人と中国人の学生、私のたった4人で行われています。主に異文化コミュニケーションについて学ぶ授業で、基本的に

はディスカッションをしながら行われます。常に発言することが求められるので大変ではありますが、お互いの文化を知る素晴らしい機会です。しかしクラス内での私の発言は、他の学生や教授にとって日本人を代表した意見のように聞こえる可能性があるため注意が必要だと考えています。また授業中、ある国の文化がうまく反映されている映画を観ることもあります。先日は日本の作品として黒澤明監督の映画を観ました。非常に刺激のある面白いクラスです。

2. Martin Luther King Day (キング牧師記念日) の交流

1月20日は、アフリカ系アメリカ人公民権運動の指導者として知られるキング牧師の記念日でした。キング牧師の誕生日、1月15日に近いことから毎年1月の第3月曜日がこの日にあたり休日となります。このことからキング牧師がアメリカに残した功績の偉大さがわかります。

この日は、Hancock County Youth Leadership program と呼ばれるプログラムに参加したダイバーシティ（多様性）に興味のある高校生との交流会がありました。フィンドレー大学の留学生と高校生の間でディスカッションを行いました。各国の一般的な食事や人気のスポーツ、祝日、結婚についてなど幅広いテーマで話し合い、非常に盛り上がりました。高校生のうちから異文化に興味をもつ彼ら/彼女らと活発な意見交換ができて、私にとっても大きな刺激となりました。ディスカッションの後は全員でサウジアラビアと日本のダンスを踊り、楽しい時間を過ごしました。今後もこのような貴重な機会が持てると良いと思います。



図 2: 同じディスカッショングループの高校生・フィンドレー大学の留学生と (私: 右から 2 番目)